

注目の出版社「水鈴社」から待望の第3弾が発売

発行：水鈴社 発売：文藝春秋

『ねじねじ録』

著者：藤崎彩織 (SEKAI NO OWARI)

ISBN：978-416-401003-7 定価：1540円



SEKAI NO OWARIのメンバーであり作家・藤崎彩織が、文章にすることでしか吐き出せなかった本音を綴った、鋭く優しく、ユーモア溢れるエッセイ集です。

深瀬くんから「さおりちゃん、もう解散しよう」と面と向かって言われたのは、暑い夏の夜。

遂にこの日が来てしまったと思いながら、自分がSEKAI NO OWARIのSaoriでなくなるについて考えた。

「分かった」

言葉にしたらすぐに激しい悲しみと恐怖がこみ上げてくるかと思ったら、心の中は静かだった。絶望というのは、案外静かなものなのかもしれない。海で遭難した時に、ばたばたと動き回るとただ息ができなくなってしまうだけなのと同じで、自分を失ってしまいそうな時は、海を背にひたすら深呼吸を繰り返すことしか出来ないのだ。

私はただ分かった、とだけ言った。深瀬くんも小さく「うん」と返した。いつも話が尽きない私たちが、ただそれだけの会話しか出来なくなっていた。（本文より）

ご注文数

番線印

ご注文は文藝春秋第三営業部へ
FAXにてお受けしております。

FAX：03-3288-7482